

科目名称	保健体育科教育法 (1組)
授業コード	BN358
英語名称	
学期	2024年度後期
単位	2.0
担当教員	長見 真
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	中学校保健授業を実際に教師の立場で行ってみること(模擬授業)を通して、保健の授業づくりについての基本的な考え方・進め方を学修する。本講義は、中学校・高等学校保健体育科教員として実務経験を有する教員が担当している。
科目に関連する実務経験と授業への活用	本講義は、中学校・高等学校保健体育科教員として実務経験を有する教員が担当し、理論のみならず実践の知についても模擬授業などをとおして学修する。
到達目標	1. ディプロマ・ポリシーに掲げる教職に求められる専門的知識を習得するために、模擬授業を通して、中学校保健授業における実践的指導力の基礎・基本を身につける。 2. カリキュラム・ポリシーに掲げる各教科(保健体育)の指導に必要な諸手法等を学ぶために、保健の授業について関心を持ち、具体的な授業づくりを探究する力を身につける。
計画・内容	1) 保健の授業づくりにおける基本的な考え方の整理 予習: 既習科目「保健体育科教育法」の講義内容を確認する(120分) 復習: ポートフォリオ作成(120分) 2) 単元計画・学習指導案作成の基本的な考え方 予習: 単元計画・学習指導案について調べる(120分) 復習: ポートフォリオ作成(120分) 3) 単元計画・学習指導案の作成 予習: 単元計画・学習指導案を作成する(120分) 復習: ポートフォリオ作成および単元計画・学習指導案の作成(120分) 4) 模擬授業「健康な生活と疾病の予防」- 健康の成り立ち 予習: 模擬授業の準備をする(120分) 復習: ポートフォリオ作成(120分) 5) 模擬授業「健康な生活と疾病の予防」- 運動、食事、休養について 予習: 模擬授業の準備をする(120分) 復習: ポートフォリオ作成(120分) 6) 模擬授業「健康な生活と疾病の予防」- 生活習慣病の要因と予防 予習: 模擬授業の準備をする(120分) 復習: ポートフォリオ作成(120分) 7) 模擬授業「健康な生活と疾病の予防」- 喫煙、飲酒、薬物乱用について 予習: 模擬授業の準備をする(120分) 復習: ポートフォリオ作成(120分) 8) 模擬授業「健康な生活と疾病の予防」- 感染症の原因と予防 予習: 模擬授業の準備をする(120分) 復習: ポートフォリオ作成(120分) 9) 模擬授業「心身の機能の発達と心の健康」- 体の発育・発達 予習: 模擬授業の準備をする(120分) 復習: ポートフォリオ作成(120分) 10) 模擬授業「心身の機能の発達と心の健康」- 思春期の心の変化

計画・内容	予習：模擬授業の準備をする（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 1 1）模擬授業「心身の機能の発達と心の健康」- ストレスへの対処 予習：模擬授業の準備をする（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 1 2）模擬授業「傷害の防止」- 傷害の発生要因と防止 予習：模擬授業の準備をする（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 1 3）模擬授業「傷害の防止」- 応急手当 予習：模擬授業の準備をする（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 1 4）模擬授業「健康と環境」- 環境への適応能力 予習：模擬授業の準備をする（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 1 5）模擬授業「健康と環境」- 廃棄物の処理 予習：模擬授業の準備をする（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分）
授業の進め方	主として模擬授業に向けての準備を予習課題とし、模擬授業を実施する。模擬授業終了後は、検討会を行う。授業後は、授業の内容についてまとめるレポート（ポートフォリオ）を復習課題として作成する。
能動的な学びの実施	授業ごとのポートフォリオ作成、模擬授業の実施およびその後のディスカッションなどをおこなう。
授業時間外の学修	必要な予習・復習については、「計画・内容」の項目を参照のこと。
教科書・参考書	<教科書> ・中学校保健体育（大日本図書） ・現代高等保健体育（大修館書店） <参考書> ・中学校学習指導要領保健体育編 ・高等学校学習指導要領保健体育編 ・保健の授業づくり入門（大修館書店） ・「授業書方式」による保健の授業（大修館書店） その他講義中、必要に応じて適宜紹介する。
成績評価方法と基準	ポートフォリオ（60%）、模擬授業のできばえ（20%）、ディスカッションにおける発言回数（20%）を総合して評定する。
課題等に対するフィードバック	レポート（ポートフォリオ）はコメントを付与して返却する。
オフィスアワー	キャンパススクエアを参照。
留意事項	本科目は、中学・高校両方の保健体育科教員免許取得に必要な科目である。 本講義は実務経験のある教員による実践的な科目である。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	ZOOMによるオンライン授業を行う。模擬授業の代わりに学習指導案検討会をおこなう。 上記「成績評価方法と基準」と同様。

科目名称	保健体育科教育法 （2組）
授業コード	BN358B
英語名称	
学期	2024年度後期
単位	2.0
担当教員	長見 真
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	中学校保健授業を実際に教師の立場で行ってみること（模擬授業）を通して、保健の授業づくりについての基本的な考え方・進め方を学修する。本講義は、中学校・高等学校保健体育科教員として実務経験を有する教員が担当している。
科目に関連する実務経験と授業への活用	本講義は、中学校・高等学校保健体育科教員として実務経験を有する教員が担当し、理論のみならず実践の知についても模擬授業などをとおして学修する。
到達目標	1．ディプロマ・ポリシーに掲げる教職に求められる専門的知識を習得するために、模擬授業を通して、中学校保健授業における実践的指導力の基礎・基本を身につける。 2．カリキュラム・ポリシーに掲げる各教科（保健体育）の指導に必要な諸手法等を学ぶために、保健の授業について関心を持ち、具体的な授業づくりを探究する力を身につける。
計画・内容	1）保健の授業づくりにおける基本的な考え方の整理 予習：既習科目「保健体育科教育法」の講義内容を確認する（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 2）単元計画・学習指導案作成の基本的な考え方 予習：単元計画・学習指導案について調べる（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 3）単元計画・学習指導案の作成 予習：単元計画・学習指導案を作成する（120分） 復習：ポートフォリオ作成および単元計画・学習指導案の作成（120分） 4）模擬授業「健康な生活と疾病の予防」- 健康の成り立ち 予習：模擬授業の準備をする（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 5）模擬授業「健康な生活と疾病の予防」- 運動、食事、休養について 予習：模擬授業の準備をする（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 6）模擬授業「健康な生活と疾病の予防」- 生活習慣病の要因と予防 予習：模擬授業の準備をする（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 7）模擬授業「健康な生活と疾病の予防」- 喫煙、飲酒、薬物乱用について 予習：模擬授業の準備をする（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 8）模擬授業「健康な生活と疾病の予防」- 感染症の原因と予防 予習：模擬授業の準備をする（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 9）模擬授業「心身の機能の発達と心の健康」- 体の発育・発達 予習：模擬授業の準備をする（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 10）模擬授業「心身の機能の発達と心の健康」- 思春期の心の変化

計画・内容	予習：模擬授業の準備をする（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 1 1）模擬授業「心身の機能の発達と心の健康」- ストレスへの対処 予習：模擬授業の準備をする（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 1 2）模擬授業「傷害の防止」- 傷害の発生要因と防止 予習：模擬授業の準備をする（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 1 3）模擬授業「傷害の防止」- 応急手当 予習：模擬授業の準備をする（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 1 4）模擬授業「健康と環境」- 環境への適応能力 予習：模擬授業の準備をする（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分） 1 5）模擬授業「健康と環境」- 廃棄物の処理 予習：模擬授業の準備をする（120分） 復習：ポートフォリオ作成（120分）
授業の進め方	主として模擬授業に向けての準備を予習課題とし、模擬授業を実施する。模擬授業終了後は、検討会を行う。授業後は、授業の内容についてまとめるレポート（ポートフォリオ）を復習課題として作成する。
能動的な学びの実施	授業ごとのポートフォリオ作成、模擬授業の実施およびその後のディスカッションなどをおこなう。
授業時間外の学修	必要な予習・復習については、「計画・内容」の項目を参照のこと。
教科書・参考書	<教科書> ・中学校保健体育（大日本図書） ・現代高等保健体育（大修館書店） <参考書> ・中学校学習指導要領保健体育編 ・高等学校学習指導要領保健体育編 ・保健の授業づくり入門（大修館書店） ・「授業書方式」による保健の授業（大修館書店） その他講義中、必要に応じて適宜紹介する。
成績評価方法と基準	ポートフォリオ（60%）、模擬授業のできばえ（20%）、ディスカッションにおける発言回数（20%）を総合して評定する。
課題等に対するフィードバック	レポート（ポートフォリオ）はコメントを付与して返却する。
オフィスアワー	キャンパススクエアを参照。
留意事項	本科目は、中学・高校両方の保健体育科教員免許取得に必要な科目である。 本講義は実務経験のある教員による実践的な科目である。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	ZOOMによるオンライン授業を行う。模擬授業の代わりに学習指導案検討会をおこなう。 上記「成績評価方法と基準」と同様。